



CHATERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2022年5月

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

100周年記念・BF

— 主題 —

国際会長 「世界とともにワイズメン」
アジア会長 「100年を越えて変革しよう」
東日本区理事 「私たちは次の世代のために何が出来るか？」
北海道部部长 「心を高めようパート2 ワイズダムの繋りを友情の輪に」
札幌クラブ会 「踏み出そう 次の一歩」

キム・サンチェ (韓国)
大野 勉 (神戸ポート)
大久保 知宏 (宇都宮)
中村 義春 (十勝)
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員
会長 柴田 伸俊
副会長 伏木 康
書記 伏木 康
会計 秋葉 聡志
直前会長 宮崎 善昭

今月の聖句

わたしたちは、善をおこなうことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると時
が来れば刈り取るようになる。 ガラテヤ人への手紙6章9節 (北川佳治選)

アフタ・コロナのユースエンパワーメント

札幌クラブ書記 伏木 康



新型コロナウイルスの影響で活動が制限されて2年が経過している。ワイズの例会はコロナ禍でも実施してきたが、ユースリーダーは以下のとおり大きく影響を受けている。
① まず、全国のユースと交流できるリーダーフォーラムなどのイベント

大学生になってからはリーダーでボランティアを経験、障がい児と触れ合う機会も貴重だった。中学、高校、大学のYMCA CAMPで知り合った友人との親交は今も続いている。

全国のユースリーダーがチミケップに集うフォーラムを企画するのはまだ先のこともかもしれませんが、中学生、高校生、大学生の居場所の構築に力を注いでいきたい。

皆さん、どうか宜しくお願い申し上げます。



上: HAYO—WENT—HA キャンプ

下: チミケップ メインキャビン



に北海道から参加できていない。

- ② また、例年3月に卒業するリーダーを送別する会にワイズが協賛、参加していたが、今年も中止になった。
- ③ チャリティランは一昨年と昨年と集合できなかった。以前の集合式なら多くのユースリーダーが仮装して走る姿が楽しみだった。
- ④ 昨年のYMCA大会ではユースに会えなかった。
- ⑤ 北海道大学 YMCA の牧羊寮の入居者がゼロになった。
- ⑥ 先般、Ys×SDGs Youth Action2022の北海道からの応募がなかった。

40、50年前の私のユース時代は、YMCAのお蔭で素晴らしい日々を過ごすことが出来た。中学生と高校生ではキャンパーとして5泊6日をHAYO—WENTA-HA キャンプ (ミシガン州)、NY、LAも回るYMCA主催のツアーに参加した。

2022年3月例会
出席報告

在籍会員 9名 例会出席 8名 ネット 0名 メーキアツプ 0名
ゲスト 2名(卓話者) 出席者合計 11名 (内リモート 1名) 出席率 89%

札幌ワイズメンズクラブ 2022年5月例会

日時：2022年5月17日（火）18:30～20:30

会場：北海道 YMCA 101 教室+リモート

会費：1,000円（会食なし、弁当持ち帰り）

プログラム

司会 副会長 伏木 康

① 開会点鐘 会長 柴田伸俊

② ワイズソング、ワイズの信条 全員

③ 今月の言葉 & なぜこの言葉を 北川 佳治

④ 開会あいさつ 会長 柴田伸俊

⑤ 誕生日 5月3日 宮崎 善昭

5月6日 柴田 邦子

5月16日 宮崎 由美子

5月18日 秋葉 康子

5月26日 北川 佳治

5月28日 伏木 康

⑥ 結婚記念日 5月2日 秋葉聡志・康子夫妻

5月7日 宮崎善昭・由美子夫妻

⑦ 卓話

ブルキナファソの 過去・現在・未来」 小野 健 会員



⑧ 諸報告

⑨ YMCA報告

⑩ 今月の歌

「琵琶湖周行の歌」（宮崎善昭選）



⑪ 閉会挨拶・点鐘 会長 柴田 伸俊

なぜこの聖句を! 北川 佳治

「継続は力なり」という言葉がありますが、その意味と難しさが年を重ねるごとに身に染みて感じられます。どのような事でも継続は簡単ではないと思います。それでも、倦み疲れず、弛まず継続していると、神様は見てくれていて、報いを与えてくださるという、この箇所に勇気もらい、今月の聖句としました。

札幌ワイズメンズクラブ4月例会記録

日時：2022年4月19日（火）18:30～20:00

出席：伏木、宮崎、中田、秋葉、柴田、北川・
リモート：山崎、小野

細割綾乃さんの卓話「北海道ダブルダッチの現状」（p.3 参照）をお聴きした後、ウクライナ緊急支援を3月に引き続きニコニコ募金にて実施した。今回の募金は北海道 YMCA へ。

札幌ワイズメンズクラブ4月事務会記録

日時：2022年4月26日（火）19:00～20:00

出席：柴田（長）・秋葉、北川、中田、宮崎
（以下 Web：山崎、小野）

1. 5月プリテン内容

分担別紙。原稿締め切り：5月10日（火）

2. 5月例会・事務会について

例会 日時：5月17日（火）18:30～20:30

※対面&リモート 場所：YMCA 101号室

食事：会費/1,000円 弁当持ち帰り。

卓話者：小野 健メン「ブルキナファソ」

事務会 日時：5月24日（火）19:00～20:00

※対面&リモート

6月例会 「1年を振り返って」（出席会員）

3. 札幌クラブ次期役員について

次期会長 伏木 康

北海道部 ユース事業主任 宮崎善昭

その他役員 会計：秋葉聡志 書記：小野 健

4. 北海道部次期役員研修会・第2回評議会

日時：4月29日（金・祭）13:30～17:00

場 所：北海道 YMCA

出席者：柴田・秋葉・小野・中田（web）

5. 京都パレス 50周年例会について

日時：2022年5月7日（土）16:00～

場所：ホテルオークラ京都

登録費：12,000円 【出席者】伏木メン

【旅費・お祝い等】YMCA サービスで未執行分（約4万円）の予算を充当。お祝い3万円支出

6. 安田文子コンサートの精算状況

現在の精算状況では約49万円の剰余金。

安田会員未精算経費などを相殺処理すると約30万円をワイズ宛寄附金とすることができる予定。

7. YMCA 関係①チャリティラン・案内。

4月15日より開始。リモート形式で実施。

YMCA サービス支援金予算あり15,000円)

8. 地域活動支援 ・今期予算として、50,000円計上中。今期5～6月でYMCAにて活動を企画。4月卓話の「ダブルダッチ体験」を中心に。

9. 例会企画として

1) 山崎会員の地元、滝川で移動例会を企画したい。土・日を活用し、内容案は山崎さんに一任。山崎さんの仕事の落ち着く10月を第一候補に検討。（記録：秋葉）

4月例会卓話「ダブルダッチとは？」 日本ジャンプロープ連合北海道支部サポーター 細割綾乃様

**1 ダブルダッチとは？**

2本のロープを使って跳ぶなわとびです。3人以上で行い、向かい合った2人のターナー（回し手）が右手のロープと左手のロープを半周ずつ回して内側に回す中を、ジャンパーがいろいろな技をまじえて跳ぶというものです。

手軽に誰にでもできて、集中力、持久力、リズム感、創造力、バランス、そしてチームワークが自然に身につく楽しいスポーツです。

▼「スピード（いかに速く飛ぶことが出来るかを競い合う）、▼「規定（決められた時間内に定められた演技を行う）、▼「フリースタイル（決められた時間内で独自の演技を行う）、▼「フュージョン（フリースタイルの演技に、音楽を融合（フュージョン）などの種目があります。

1. ダブルダッチの歴史

ダブルダッチは、300年以上前ハドソン川のほとりのニューアムステルダム（現在のニューヨーク）に移住したオランダ人によってアメリカに持ち込まれた縄跳びです。ダブルダッチという言葉は、オランダ人が複雑でおかしなことをしたときに、それを指して言うイギリス人の俗語で、「ちんぷんかんぷん」というくらいの感じの語です。

家の前の狭い道路でも、わずか2本の物干しロープがあれば出来ることから、当時、子供たちの間に広まっていきましたが、交通が激しくなり、遊びも豊富になった1900年代の終わりごろから、ダブルダッチはすたれ、忘れられてしまいました。1973年、ニューヨークの二人の警察官がダブルダッチを楽しむ女の子達の姿にヒントを得て、スラム街で急増する少年・少女の非行に歯止めをかけるため、ルールを作り、新しいスポーツとして再生し、普及活動が始まりました。翌74年に「第1回ダブルダッチ・トーナメント」が開催され、現在では全米で人気のスポーツのひとつとなり、若者、子供を中心に世界に広がっています。

2 私とダブルダッチとの出会い

2016年、札幌市のつどーむで行なわれていたスポーツ&カルチャーのイベント（スポカル）でダブルダッチメンバーが体験会を行っていました。そこで、大人も子供もみんなが楽しく跳んでいました。私も子供（当時小学2年生）と一緒に挑戦し、子供は何度も並び直し跳んでいました。帰宅後、「またやりたい」と言っていたので、その後連絡を取り、親子でサークルに参加させて頂いたのがきっかけです。

3. 北海道のダブルダッチの現状

現在、北海道ではダブルダッチインストラクターは4名（札幌3名、洞爺1名）。

北海道でのプレー人口はおおよそ80名で春夏秋冬に各種大会を行っています。地域のイベントなどに参加させて頂いています。

4. ダブルダッチをお勧めする理由

▼自由に自分を表現できる（リズム感や表現力の向上）▼一人では出来ないのでチームワークを大切にする（仲間との協力）▼自分で考え披露する（パフォーマンスを成功時の達成感）▼今から始めればオリンピック選手になれるかも！？（努力すれば報われる）

5. ウソ？ 本当！の話し（笑）

学力向上のカギは「心拍数を増やすこと」にあると科学ではされています。どんな競技をするかは問いませんが、心拍数が増える有酸素運動であることが望ましく、小学校に通う学童期が最も運動の恩恵を得られるとも考えられています。アメリカでは学力と体力向上のため縄跳びを取り入れている学校もあるとのこと。

6. 今後の私の活動（みなさまへのお願い）

2028年ロサンゼルス五輪の競技種目になるために周知活動を行っています。

▼ダブルダッチのパフォーマンスを披露できる場所。▼室内で子供たちが低料金で（無料で）練習できる場所を探しています。▼そしてダブルダッチを周知できる場所（皆さまに聞いてもらえる（講演、場所）を探しています。興味のある方、ダブルダッチをお子さん、お孫さんに挑戦させたい、ご自分で挑戦したい方などは是非ご連絡下さい。

私の理想は、児童会館や学童、学生たちでチームを作り、地域で発表し、地域で成長を見守る。そんな活動を目指しています。サッカーやバスケットボールなどの様に公園で見かける一コマになりたいと思っています。

北海道大学にはダブルダッチをやっている学生はいませんが、東京大学、京都大学、立命館大学、日本体育大学などでは学生が活躍しています。今後は北海道でも学生（特に中高大学生）などを中心に普及し、文化祭、学習発表会、などで披露され、サークルや部活動（本州では、中学校の部活動として行っている学校もあり、全国大会や世界大会に出場しています。）として、ダブルダッチが身近なスポーツになるように活動していきたいと思えます。

講演会やイベントなどのお申し込みがあれば遠慮なく、以下にご連絡下さい。

J J R U北海道支部 北海道ダブルダッチ

Emil: info@hokkaido-dda.com

縄2本でできるスポーツ「ダブルダッチ」をよろしく願います。

4月号で「ダブルダッチ」を「ダブルタッチ」と記載してしまいました。お詫びして、訂正致します。編集部

YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

① 全道職員研修報告

5月1日(土)に北海道YMCA(札幌・北見・とちか帯広)全職員を対象とした、研修会を開催しました。今年のテーマは、「子供達の成長とYMCAの働き」と題して、

1. 秋葉総主事による講話「北海道YMCA創立125周年を迎えて」、総主事講話を受けてのグループディスカッション、

2. 青木康太郎先生<國學院大學准教授>による基調講演「子供の頃の体験がその後の成長に及ぼす影響について-21世紀出生縦断調査を活用した体験活動の効果等分析結果から見えてきたこと-」、青木先生の基調講演を受けてのグループディスカッション、の流れで研修を行いました。

今回の研修では、YMCAの歴史的な学びや職員交流が行えたことで、YMCAスタッフとしての所属意識や絆がより一層深まりました。また、青木先生の基調講演の内容は、まさにYMCAとの関連性が高いことばかりで、YMCAとしての使命と存在意義を再確認できた良い機会となりました。

② インターナショナルチャリティランのお知らせ

北海道YMCAインターナショナルチャリティラン2022が5月15日~6月30日の期間で開催されます。障がい児支援イベントとして、オールジャパンYMCAで取り組んでいる本企画は、北海道では27回目となります。

今年もコロナ対策として、対面開催を見送り、各自がそれぞれ走った(歩いた)風景を撮影し、それを北海道YMCAインターナショナルチャリティラン公式Facebookに掲載する形式をとります。



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。



北海道社会貢献賞の表彰状を掲げる伊藤悠紀子代表(中央)と亀丸小百合さん(右)、山口陽子さん

いろいろの会 道社会貢献賞

留学生に日本語指導奉仕 北見

2021年度の北海道社会貢献賞(国際協力功労者)に、北見市のボランティア団体「北見YMCAいろいろの会」(伊藤悠紀子代表)が選ばれた。海外からの留学生や技能実習生らに日本語指導を20年以上続けている功績が評価され、表彰伝達式が13日、北見工業大で開かれた。

同会は00年3月に設立。留学生や技能実習生、教員とその家族を対象に日本語指導や文化体験会をボランティアで行っており、22

年間で支えた外国人は約45カ国350人。現在は会員約20人が、新型コロナウイルス禍前に来日した約30人に携わっている。

伝達式では、オホーツク総合振興局の佐々木幹基地域創生部長が「道内の国際化の推進に大きく貢献した」とたたえ、伊藤代表に表彰状と盾を贈呈。伊藤代表は「これからも活動を見守ってください」と話し、会員の亀丸小百合さん、山口陽子さんと受賞を喜び合った。(相川康晴)

第3回 神戸集合! 東西日本区交流会

スローガン 語ろうワイズの未来! ともに手を取り次の100年へ

2023年2月4日(土)~5日(日)
ANAクラウンプラザホテル神戸
兵庫県神戸市中央区北野町1-1



楽しい企画
もりだくさん!

4日午後 オープニングセレモニー
ボランティア団体フォーラム
懇親会

5日午前 分科会
・音楽を楽しもう!
・ワイズカレンダーを作ろう!
・神戸の町を散策しよう!
・クロージングセレモニー

2022年にワイズメンズクラブ国際協会は100周年を、東西日本区は25周年を迎えました。次の100周年に向けて語り合いましょう!!



事務局 東西交流会実行委員会
Email:hiroказu@iris.eonet.ne.jp(古田)